

## 私立高校生高校選択及び高校生活満足度調査結果 (大阪府教育庁私学課提供資料)

1. 平成 28 年度私立高校新入生高校選択満足度調査結果 . . . . . 1
2. 平成 27 年度私立高校新入生高校選択満足度調査結果 (概要) . . . 1 1
3. 平成 28 年度私立高校 3 年生高校生活満足度調査結果 . . . . . 1 2
4. 平成 27 年度私立高校 3 年生高校生活満足度調査結果 (概要) . . . 2 1

# 平成28年度私立高校入学生の保護者を対象とした 高校選択満足度調査の結果について

平成29年 3月  
大阪府教育庁私学課

大阪府では、子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障することを目的に、平成23年度の新1年生から、私立高校の授業料無償化制度（私立高等学校等授業料支援補助金）を実施しています。

この無償化制度の効果検証の一環として、平成28年4月に入学した私立高校生の保護者を対象として、高校選択に関する満足度調査を平成29年1月から2月に実施しました。

本調査は、平成23年度以降の新入生に対し、毎年度実施しており、今年度で6回目の実施となります。

## 【調査結果の概要】

- **在籍校に対する満足度は、「全体を通して満足」しているという肯定的な意見が73.1%であった。**

在籍校に対する満足度は、「生活指導面」、「学習指導面」に関して満足しているという肯定的な意見が7割となったほか、「教員」、「進路指導面」、「施設・設備面」、「特色ある教育活動」においても肯定的な意見が6割であった。「全体を通して」では、73.1%（H27：78.8%、H26：72.1%、H25：73.3%、）が肯定的な意見であった。

- **「授業料無償化制度があったから、私立高校への進学を選択した」とする割合は、年収590万円未満世帯で77.2%であった。**

この制度があったから私立高校への進学を選択したとする大阪府に在住している保護者の割合は、世帯の年収で区分して見ると、年収800万円未満世帯では72.7%（H27：76.9%、H26：78.3%、H25：70.7%）、590万円未満世帯では77.2%（H27：80.8%、H26：82.4%、H25：77.0% ※1）であり、いずれの所得区分においても、昨年度に比べ4ポイント程度減少した。

- **入学した私立高校を選んだ理由は、「進学指導に実績があること」が66.1%で、最も多かった。**

入学した私立高校を選んだ理由については、「進学指導に実績があること（66.1%）」（H27：69.8%、H26：66.3%、H25：67.2%）が最も多く、次いで「基礎学力が身につく教育を行っていること（64.6%）」（H27：68.7%、H26：65.6%、H25：68.8%）となっている。

- **私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、10万円（月1万円程度）が妥当と考える割合が最も多く、全体の23.7%であった。**

「10万円（月1万円程度）」が妥当と考える割合は、世帯の年収で区分して見ると、年収800万円未満世帯では26.3%、年収590万円未満世帯では26.1%となっており、いずれの所得区分で見ても、最も多かった。

※1 H25～H27の割合は年収610万円未満世帯の回答

## 【満足度調査について】

### 1 目的

平成28年4月に入学した私立高校生の保護者を対象として、学校等に対する満足度、授業料無償化制度の認知状況や進路選択に与えた影響などの調査を実施し、授業料無償化制度の効果を検証するとともに、今後の施策検討の参考とする。

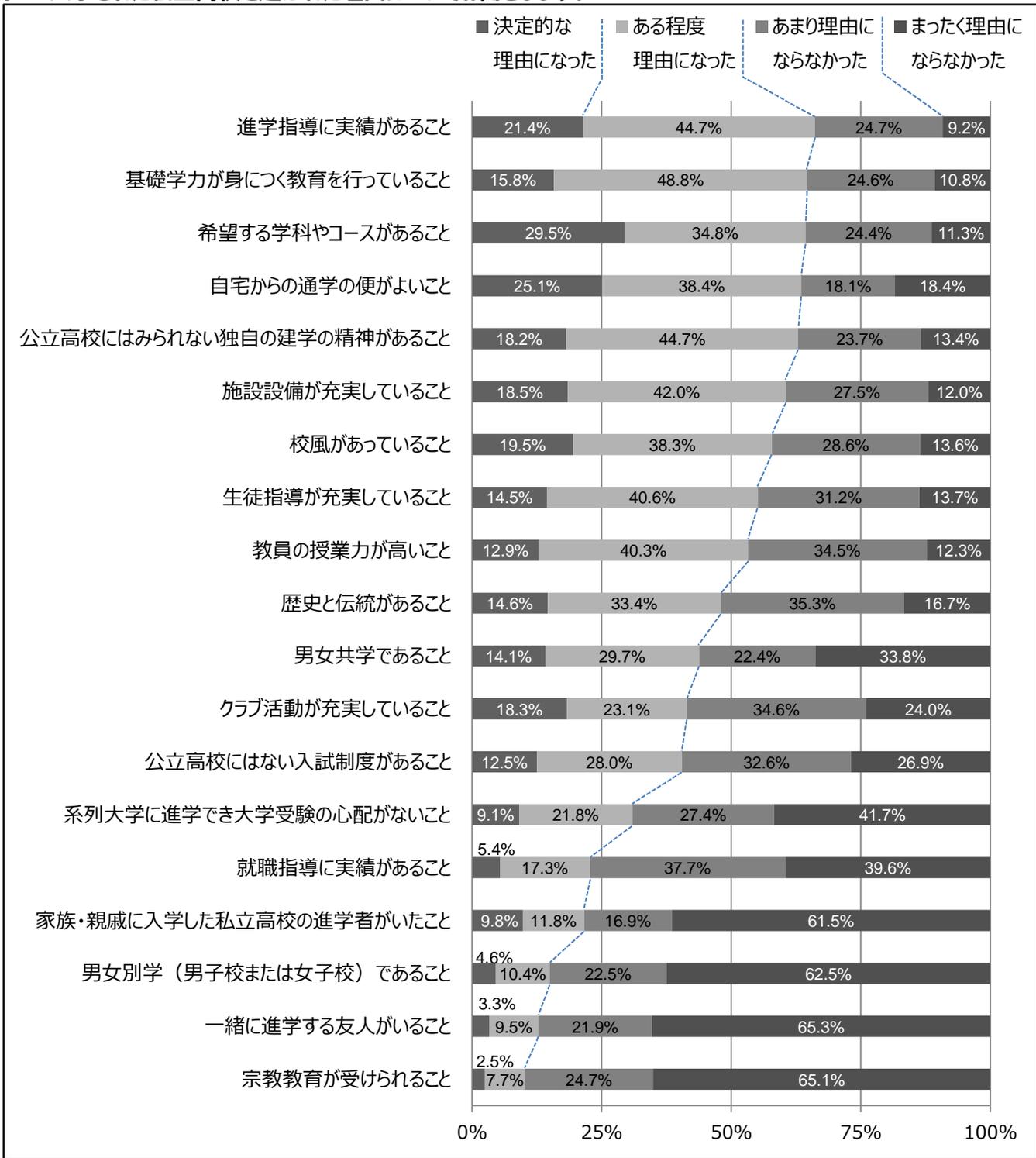
### 2 対象

平成28年4月に府内の全日制私立高校（91校）に入学した高校1年生のうち、各校が選定したクラスに属する生徒の保護者3,272人（H27：3,334人、H26：3,299人 H25：3,399人）

### 3 実施方法

平成28年12月に府内の私立高校へ調査用紙を配布し、各学校において調査対象クラスを選定の上、対象生徒を通じて保護者に調査用紙を配布。2月14日までに2,978人（H27：1,302人、H26：1,318人、H25：1,465人）の保護者から回答を得た。

問1 入学された私立高校を選ばれた理由についてお聞きます。

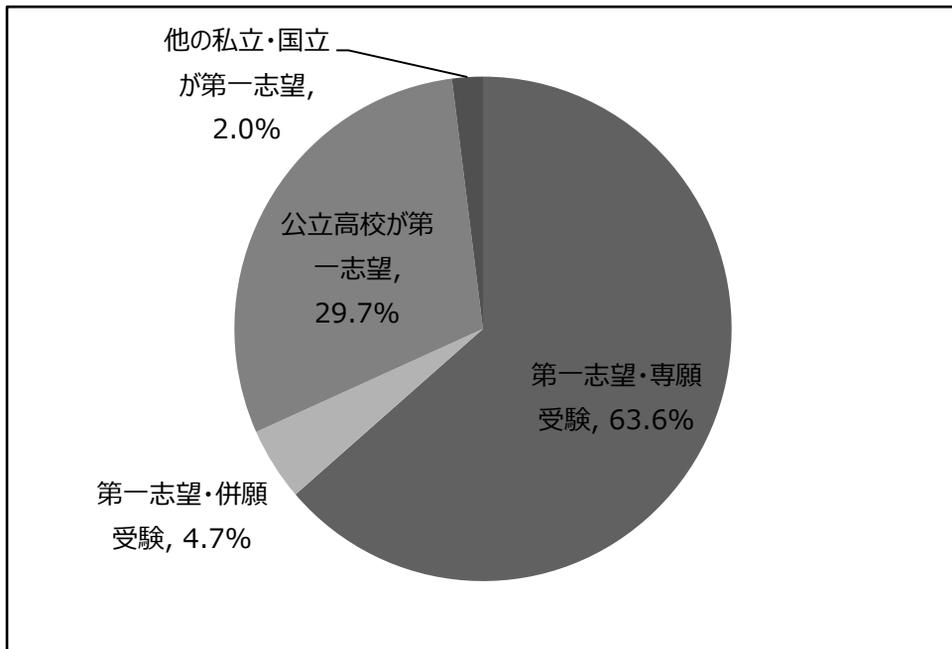


○ 入学した私立高校を選んだ理由は、「進学指導に実績があること」が66.1%と最も多い

※27年度調査：「進学指導に実績があること（69.8%）」が最も多い

- 入学した私立高校を選んだ理由について項目を示して聞いたところ、「決定的な理由になった」と「ある程度理由になった」を合わせた肯定的な意見としては、「進学指導に実績があること（66.1%）」（H27：69.8%、H26：66.3%、H25：67.2%）が最も多く、次いで「基礎学力が身につく教育を行っていること（64.6%）」（H27：68.7%、H26：65.6%、H25：68.8%）、「希望する学科やコースがあること（64.3%）」（H27：62.4%、H26：67.0%、H25：63.7%）となっている。
- 「あまり理由にならなかった」と「まったく理由にならなかった」を合わせた否定的な意見としては、「宗教教育が受けられること（89.8%）」（H27：90.5%、H26：90.0%、H25：91.4%）が最も多く、次いで「一緒に進学する友人がいること（87.2%）」（H27：89.4%、H26：90.1%、H25：86.2%）となっている。

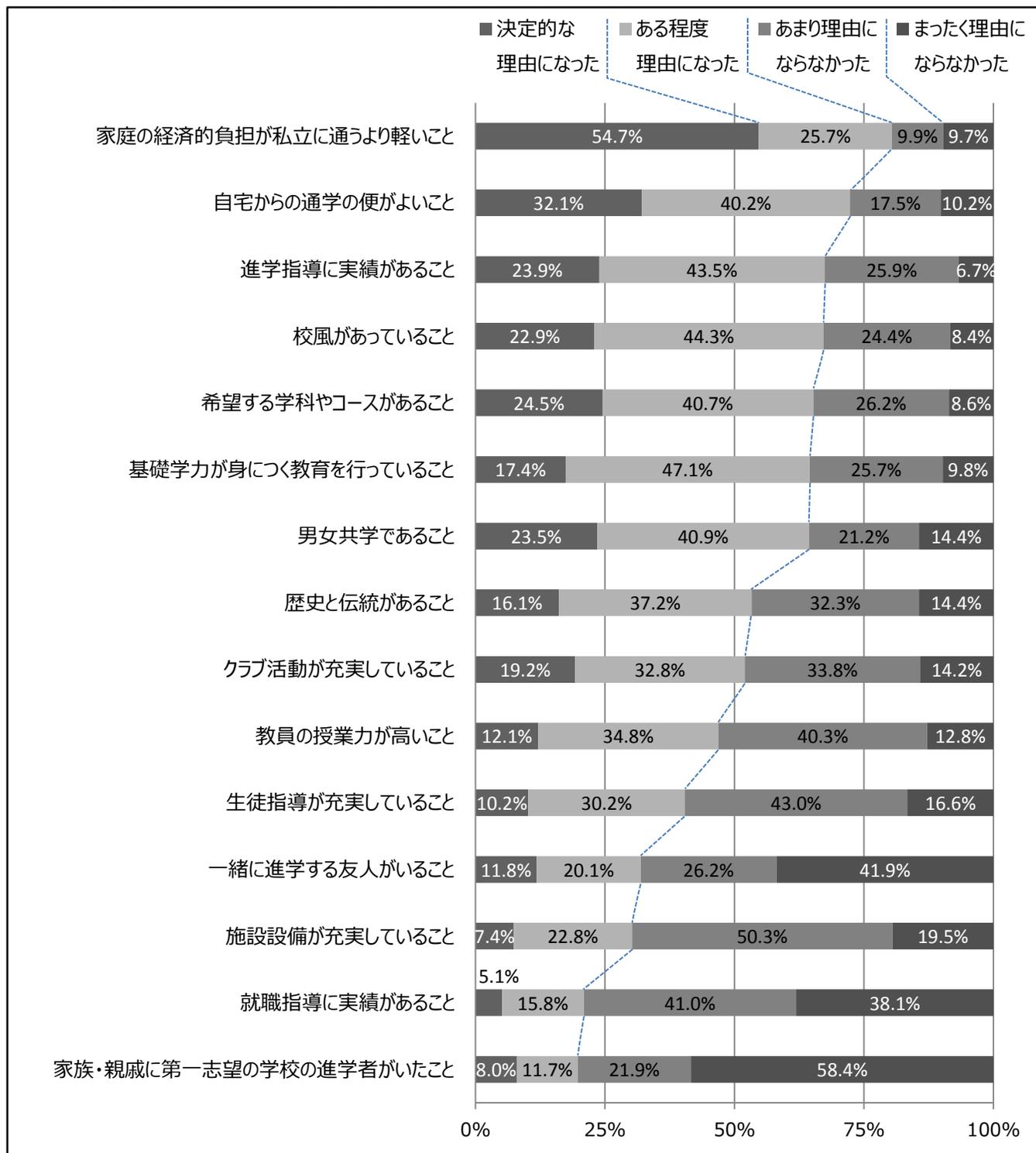
## 問2 入学された私立高校はお子様の第一志望でしたか。



### ○ 63.6%の生徒が、在籍校が第一志望であったので、専願受験により入学したとしている

- ・ 入学した私立高校が第一志望であったかどうかを聞いたところ、「第一志望であったので、当該校を専願受験した(63.6%)」(H27：64.3%、H26：65.3%、H25：67.0%)が最も多かった。また、「第一志望であったが、当該校を併願受験した(4.7%)」(H27：3.3%、H26：3.3%、H25：3.1%)も少なからずあった。
- ・ 「公立高校が第一志望であったが、当該校を併願受験した(29.7%)」(H27：30.5%、H26：29.7%、H25：28.5%)は約3割となっており、昨年度に比べ0.8ポイント減った。

問3 第一志望として公立高校を選ばれた理由についてお聞きします。



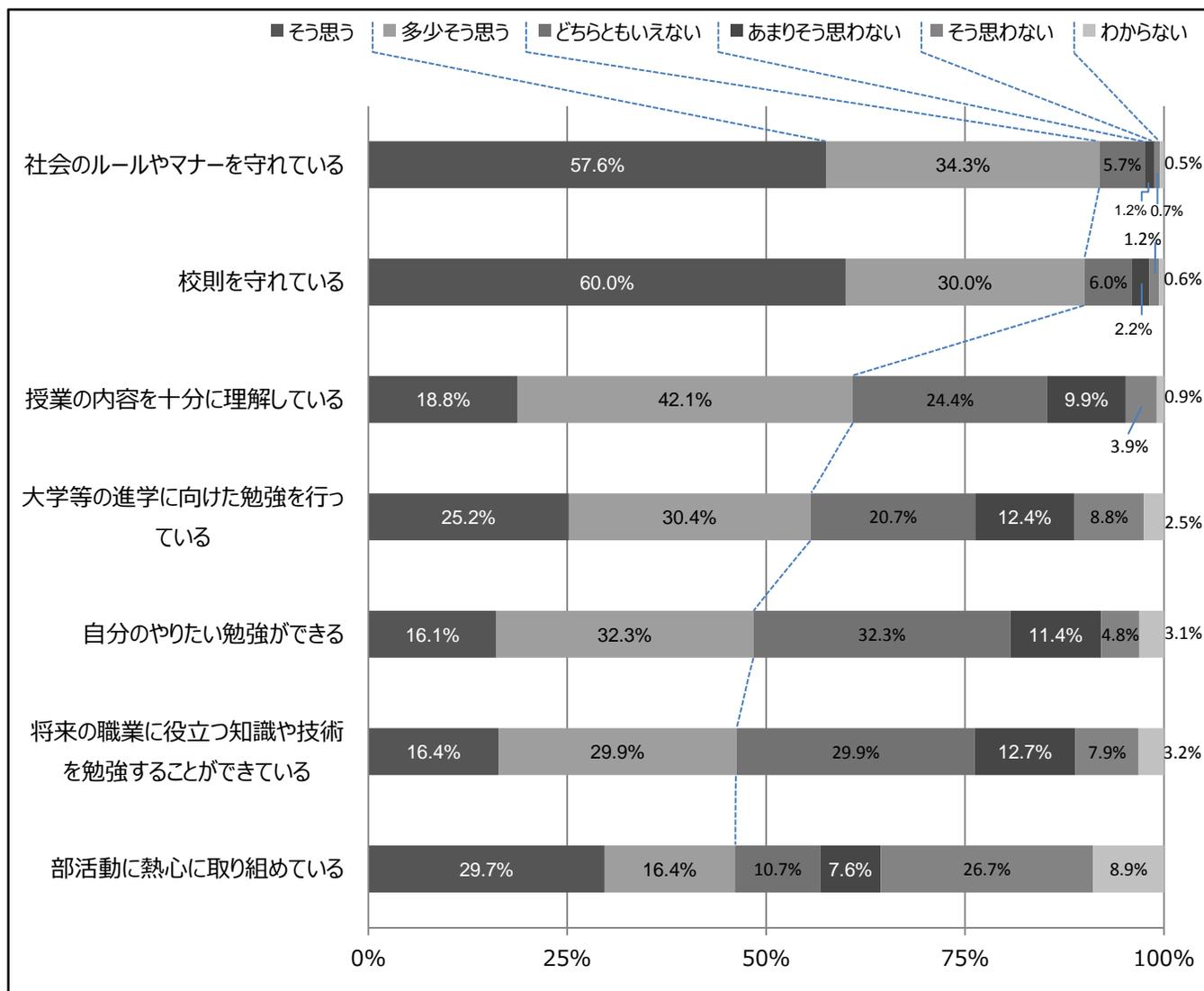
○ 公立高校を第一志望に選んだ理由は、「家庭の経済的負担が私立に通うより軽いこと」が80.4%と最も多い

※27年度調査：「家庭の経済的負担が私立に通うより軽いこと（84.2%）」が最も多い

- 公立高校を第一志望に選んだ理由について項目を示して聞いたところ、「決定的な理由になった」と「ある程度理由になった」を合わせた肯定的な意見としては、「家庭の経済的負担が私立に通うより軽いこと（80.4%）」（H27：84.2%、H26：88.5%、H25：86.6%）が最も多く、次いで、「自宅からの通学の便がよいこと（72.3%）」（H27：74.5%、H26：81.5%、H25：78.3%）及び「進学指導に実績があること（67.4%）」（H27：71.8%、H26：70.3%、H25：70.4%）となっている。

- 「あまり理由にならなかった」と「まったく理由にならなかった」を合わせた否定的な意見としては、「家族・親戚に第一志望の学校の進学者がいたこと（80.3%）」（H27：78.3%、H26：81.2%、H25：79.1%）が最も多く、次いで「就職指導に実績があること（79.1%）」（H27：84.1%、H26：85.3%、H25：82.9%）となっている。

#### 問4 お子様の現在の高校生活について、お聞きます。

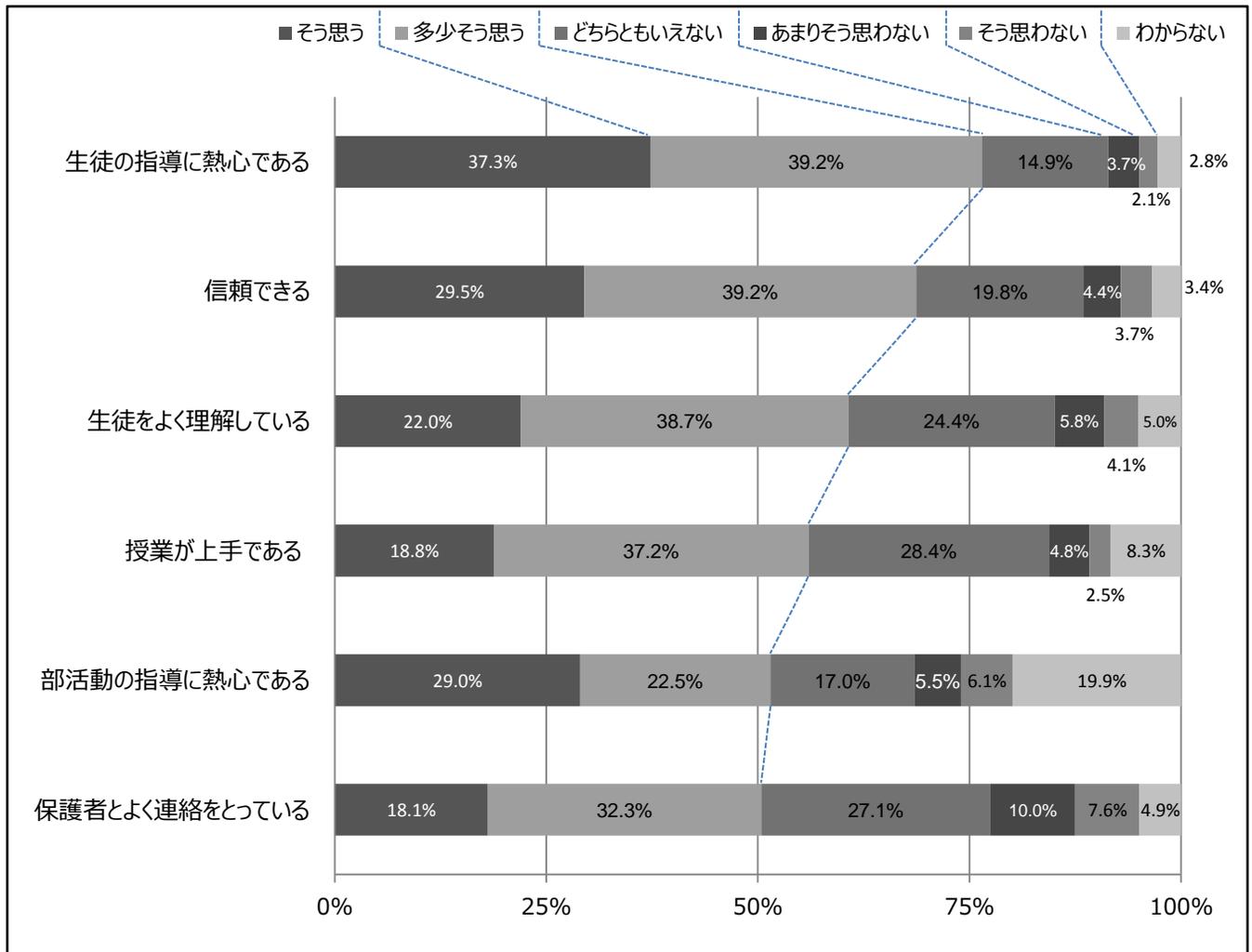


○ 現在の高校生活については、「社会のルールやマナーが守られている」が 91.9%と最も多く、次いで「校則を守れている」が 90.0%となっている

※27年度調査：「社会のルールやマナーが守られている（93.1%）」が最も多い

- ・ 現在の高校生活について聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見としては、「社会のルールやマナーが守られている（91.9%）」（H27：93.1%、H26：92.6%、H25：91.6%）が最も多く、次いで「校則を守れている（90.0%）」（H27：92.3%、H26：90.8%、H25：90.6%）が9割、「授業の内容を十分に理解している（60.9%）」（H27：65.7%、H26：67.0%、H25：63.7%）及び「大学等の進学に向けた勉強を行っている（55.6%）」（H27：63.3%、H26：62.7%、H25：60.1%）が6割程度となっている。
- ・ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見として最も多いものは、「部活動に熱心に取り組んでいる（34.3%）」（H27：35.6%、H26：35.3%、H25：33.2%）であり、3割を超えている。

## 問5 学校の先生について、お聞きします。

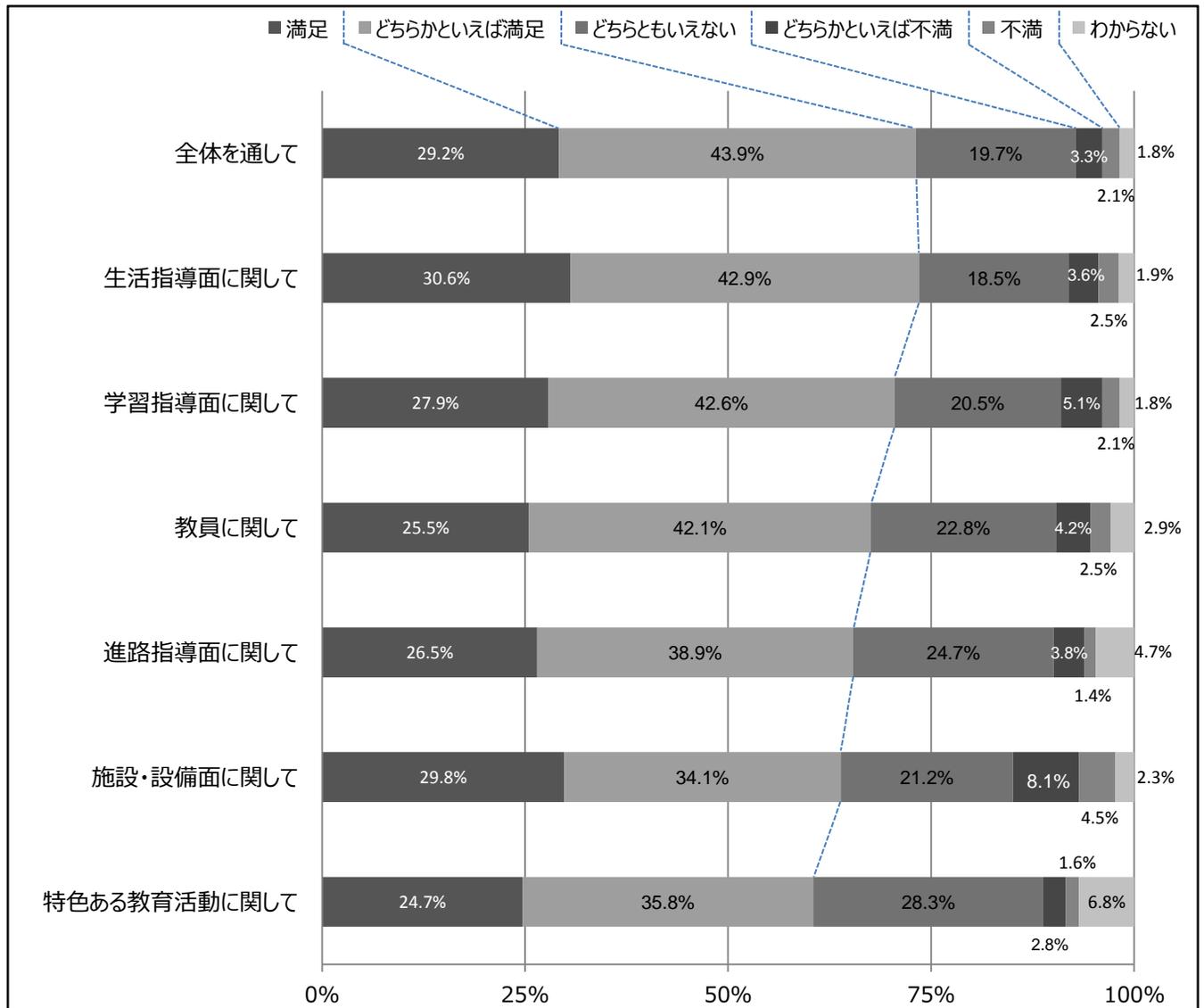


### ○ 学校の先生については、「生徒の指導に熱心である」が 76.5%と最も多くなっている

※27年度調査：「生徒の指導に熱心である（80.1%）」が最も多い

- 学校の先生について聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見としては、「生徒の指導に熱心である（76.5%）」（H27：80.1%、H26：74.6%、H25：79.3%）が最も多く、次いで「信頼できる（68.7%）」（H27：71.7%、H26：66.9%、H25：71.0%）が7割弱、「生徒をよく理解している（60.7%）」（H27：64.2%、H26：58.3%、H25：62.6%）が6割となっている。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見として最も多いものは、「保護者とよく連絡をとっている（17.6%）」（H27：16.7%、H26：21.6%、H25：16.1%）であり、2割弱となっている。

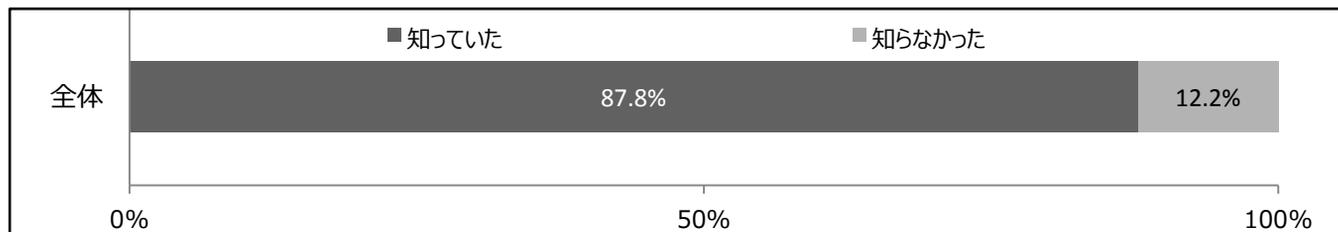
## 問6 入学された私立高校に満足していますか。



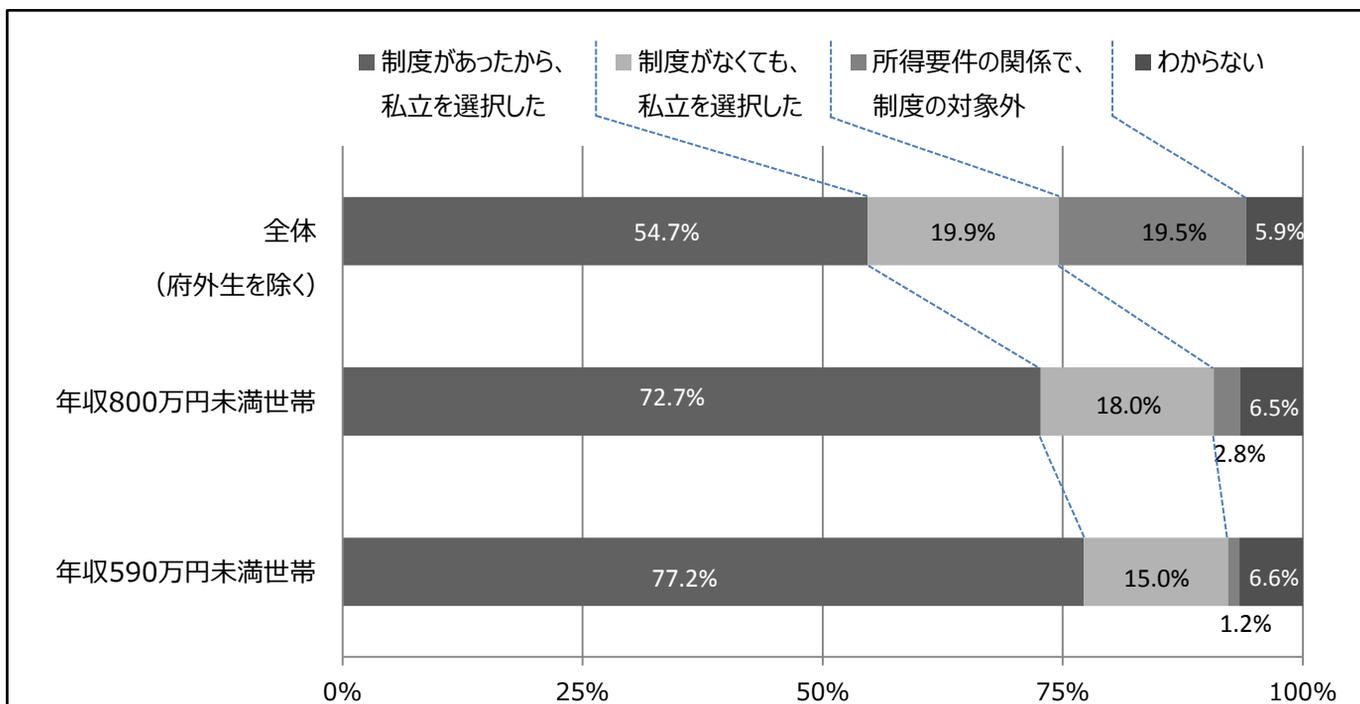
○ 入学した私立高校に対する満足度は、「全体を通して満足」しているという肯定的な意見が **73.1%**となっている  
 ※27年度調査：78.8%

- 入学した私立高校に対する満足度について聞いたところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的な意見としては、「全体を通して（73.1%）」（H27：78.8%、H26：72.1%、H25：73.3%）が最も多く、次いで、「生活指導面に関して（73.5%）」（H27：77.8%、H26：73.0%、H25：76.2%）、「学習指導面に関して（70.5%）」（H27：74.7%、H26：71.9%、H25：71.3%）であり、ともに7割を超えている。
- 「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた否定的な意見として最も多いものは、「施設・設備面に関して（12.6%）」（H27：12.2%、H26：11.2%、H25：13.2%）であり、約1割となっている。

問7 お子様を私立高校に通わせるにあたって、大阪府の授業料無償化制度（授業料支援補助金）のことを知っていましたか。



問8 授業料無償化制度（授業料支援補助金）があったから、私立高校への進学を選択しましたか。



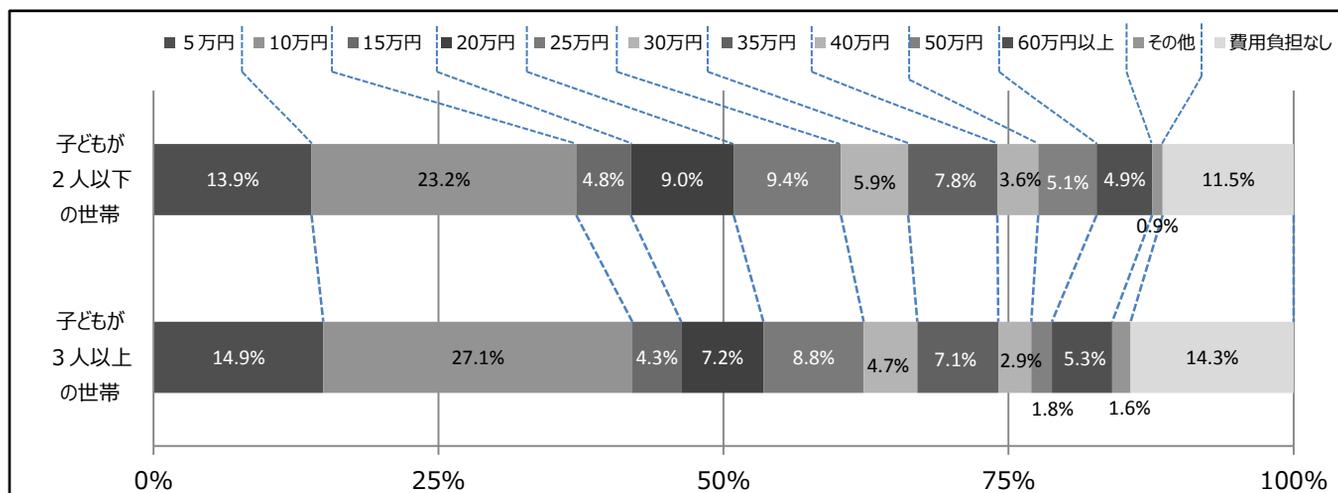
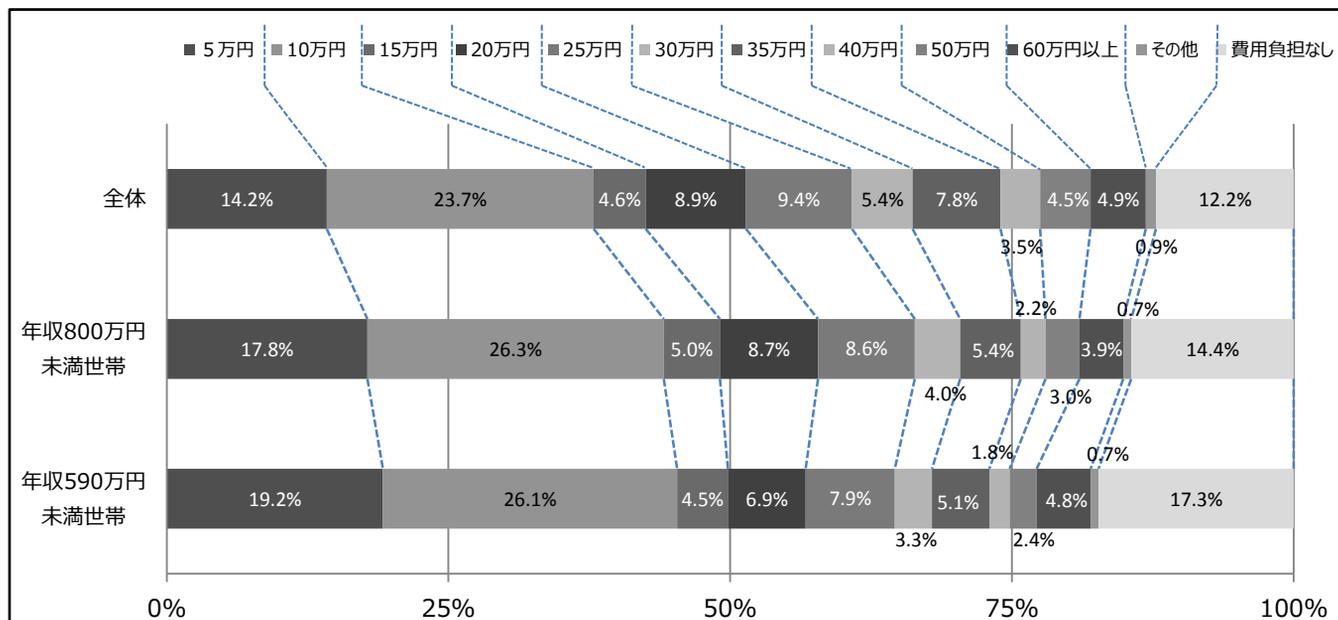
○ 大阪府の「授業料支援補助金制度」を知っていた割合は 87.8%（27年度調査：92.3%）。また、大阪府に在住している保護者のうち、「制度があったから、私立高校への進学を選択した」とする割合は、年収590万円未満世帯で 77.2%（27年度調査：80.8% ※1）となっている

- 大阪府の「授業料支援補助金制度」を知っていたかを聞いたところ、「知っていた（87.8%）」（H27：92.3%、H26：92.0%、H25：91.8%）が9割弱、「知らなかった（12.2%）」（H27：7.7%、H26：8.0%、H25：8.2%）は1割強となっている。
- また、この制度があったから私立高校への進学を選択したかを聞いたところ、大阪府に在住している保護者全体では、「制度があったから、私立高校への進学を選択した（54.7%）」（H27：57.0%、H26：58.8%、H25：53.8%）が5割強となっており、「制度がなくても、私立高校への進学を選択した（19.9%）」（H27：16.0%、H26：15.6%、H25：19.3%）は、2割を下回っている。
- これを世帯の年収で区分して見た場合、「制度があったから、私立高校への進学を選択した」とする割合は、年収800万円未満世帯では 72.7%（H27：76.9%、H26：78.3%、H25：70.7%）、年収590万円未満世帯では 77.2%（H27：80.8%、H26：82.4%、H25：77.0% ※1）となっており、世帯年収が低くなるほど、割合が高くなっている。
- また、いずれの所得区分においても、「制度があったから、私立高校への進学を選択した」とする割合は、昨年度に比べ減少している。

※1 H25～H27の割合は年収610万円未満世帯の回答

## 問9 私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、どの程度が妥当とお考えですか。

（注）「私立高校ならではの教育」とは、英語力・学力向上のための特色ある取組み、ICT環境・人工芝などの充実した施設等をいいます。

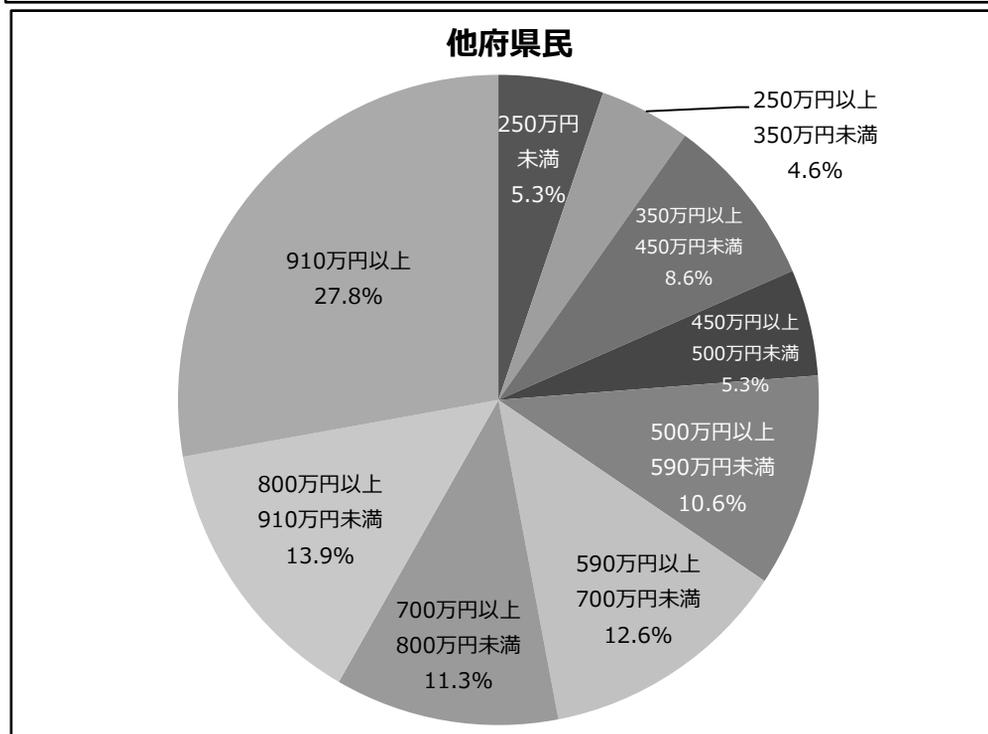
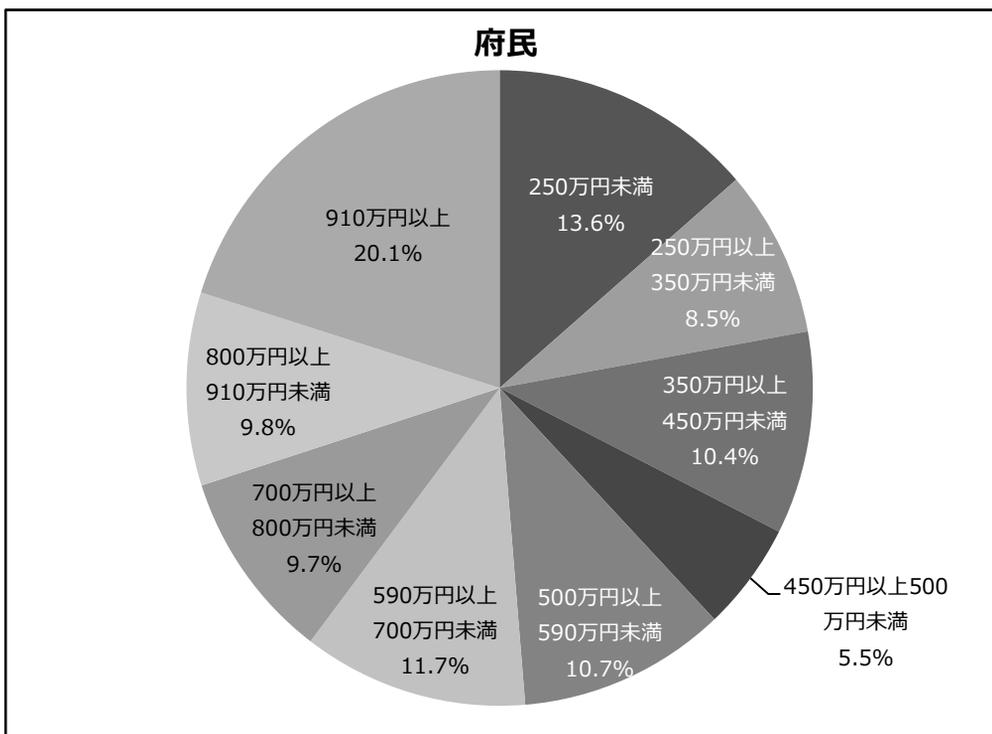


○ 私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、10万円（月1万円程度）が妥当と考える割合が最も多く、全体の23.7%となっている。

- ・ 私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、どの程度が妥当か聞いたところ、「10万円（月1万円程度）」が妥当と考える割合は、全体では23.7%、年収800万円未満世帯では26.3%、年収590万円未満世帯では26.1%となっており、いずれの所得区分で見ても、最も多くなっている。また、世帯における子どもの数が2人以下の世帯では23.2%、3人以上の世帯では27.1%となっている。
- ・ 「費用負担なし」とする割合は、全体では12.2%、年収800万円未満世帯では14.4%、年収590万円未満世帯では17.3%となっている。世帯の年収が低くなるほど割合は高くなっている。また、世帯における子どもの数が2人以下の世帯では11.5%、3人以上の世帯では14.3%となっている。

※ 昨年度までは「私立高校ならではの教育を受けるための費用負担について、どのようにお考えですか。」という質問に「私学ならではの教育が受けられるのであれば、一定の費用を負担してもよい。」と回答いただいた方に対して、「その場合の一定の費用負担額（年額）としては、どの程度が妥当とお考えですか。」の質問に回答いただいていたのですが、平成28年度は、「費用負担なし」とする選択肢も含めて回答いただく質問に変更しました。そのため、H25～H27の回答内容の比較ができないことから、H25～H27の回答内容の記載を省略しています。

問10 あなたの世帯のおおよその年収をお尋ねします。



○ **大阪府に在住している保護者のうち、世帯年収590万円未満の割合は 48.7%、世帯年収800万円未満の割合は 70.1%となっている** ※27年度調査：610万円未満は 46.6%、800万円未満は 69.7%

・ 世帯の年収について聞いたところ、大阪府に在住している保護者については、590万円未満の割合は 48.7%（H27：46.6%、H26：48.7%、H25：49.0% ※1）、800万円未満の割合は 70.1%（H27：69.7%、H26：71.7%、H25：70.8%）となっている。

・ なお、他府県から大阪の私立高校に通っている世帯の年収は、590万円未満の割合は 34.4%（H27：41.2%、H26：40.0%、H25：58.0% ※1）、800万円未満の割合は 58.3%（H27：58.8%、H26：72.7%、H25：76.5%）となっている。

※1 H25～H27の割合は年収610万円未満世帯の回答

# 平成27年度私立高校入学生の保護者を対象とした 高校選択満足度調査の結果について

平成28年 3月  
大阪府府民文化部私学・大学課

大阪府では、子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障するため、平成23年度の新1年生から、「私立高校生等授業料支援補助金」の支援内容を大幅に拡充しました。この施策の効果検証の一環として、平成27年4月に入学した私立高校生の保護者を対象として、高校選択に関する満足度調査を平成28年2月に実施しました。

本調査は、平成23年度以降の新入生に対し、毎年度実施しており、今年度で5回目の実施となります。

## 【調査結果の概要】

- **在籍校に対する満足度は、「全体を通して満足」しているという肯定的な意見が約8割であった。**

在籍校に対する満足度は、「生活指導面に関して」において肯定的な意見が8割弱となったほか、「学習指導面」、「教員」、「進路指導面」、「施設・設備面」においても肯定的な意見が約7割あった。「全体を通して」では、78.8%（H26：72.1%、H25：73.3%、H24：72.7%）が肯定的な意見であった。

- **大阪府の「授業料支援補助金制度」を知っていた割合は92.3%であり、「制度があったから、私立高校への進学を選択した」とする割合は、年収610万円未満世帯で80.8%であった。**

大阪府の「授業料支援補助金制度」を知っていた割合は92.3%（H26：92.0%、H25：91.8%、H24：91.7%）であった。

この制度があったから私立高校への進学を選択したとする大阪府に在住している保護者の割合は、世帯の年収で区分して見ると、年収800万円未満世帯では76.9%（H26：78.3%、H25：70.7%、H24：71.4%）、610万円未満世帯では80.8%（H26：82.4%、H25：77.0%、H24：77.2%）であり、いずれの所得区分においても、昨年度に比べ1ポイント以上減少した。

- **入学した私立高校を選んだ理由は、「進学指導に実績があること」が69.8%で、最も多かった。**

入学した私立高校を選んだ理由については、「進学指導に実績があること（69.8%）」（H26：66.3%、H25：67.2%、H24：66.3%）が最も多く、次いで「基礎学力が身につく教育を行っていること（68.7%）」（H26：65.6%、H25：68.8%、H24：63.6%）となっている。

## 【満足度調査について】

### 1 目的

平成27年4月に入学した私立高校生の保護者を対象として、学校等に対する満足度、授業料支援補助金の認知状況や支援制度が進路選択に与えた影響などの調査を実施し、授業料支援補助金制度の効果を検証するとともに、今後の施策検討の参考とする。

### 2 対象

平成27年4月に府内の全日制私立高校（91校）に入学した高校1年生のうち、各校が選定したクラスに属する生徒の保護者3,334人（H26:3,299人 H25:3,399人、H24:3,398人）

### 3 実施方法

平成28年1月に府内の私立高校へ調査用紙を配布し、各学校において調査対象クラスを選定の上、対象生徒を通じて保護者に調査用紙を配布。2月20日までに1,302人（H26: 1,318人、H25:1,465人、H24:1,679人）の保護者から回答を得た。

## 平成28年度私立高校3年生の保護者を対象とした 高校生活満足度調査の結果について

平成29年6月  
大阪府教育庁私学課

大阪府では、子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障することを目的に、平成23年度の新1年生から、私立高校の授業料無償化制度（私立高等学校等授業料支援補助金）を実施しています。

この無償化制度の効果検証の一環として、平成28年度の私立高校3年生の保護者を対象として、高校生活に関する満足度調査を平成29年1月から3月に実施しました。

本調査は、平成28年度の高校3年生に対し実施しており、今年度で4回目の実施となります。

### 【調査結果の概要】

- **私立高校を選択したときの決め手としてあげられた項目が、3年間の高校生活において期待どおりであったとする肯定的な意見は8割を超えた。**

私立高校を選択したときの決め手となった項目について、上位二つを選択してもらったところ、「希望する学科やコースがある」を選択したものが**15.9%**（H27:12.7%、H26:11.6%）と最も高く、第二位は、「進学指導が充実している」が**13.7%**（H27:14.6%、H26:14.5%）であった。また、これらの項目について、3年間の高校生活において期待どおりであったとする肯定的な意見は、それぞれ**85.2%**（H27:87.2%、H26:85.3%）、**86.9%**（H27:86.9%、H26:86.8%）であった。

決め手としてあげられた項目の全体でみれば、期待どおりであったとする肯定的な意見は**87.2%**（H27:87.1%、H26:87.2%）であった。

- **子どもが3年間の高校生活の「全体を通して成長・向上した」という肯定的な意見は9割を超えた。**

3年間の高校生活を通じて、子どもが「社会のルールやマナーを守って生活ができた」、「校則を守り、規律正しい学校生活ができた」という肯定的な意見は、それぞれ**93.6%**（H27:94.0%、H26:93.8%）、**92.0%**（H27:93.5%、H26:92.8%）となったほか、「授業の内容を十分に理解できた」という肯定的な意見は**82.7%**（H27:83.9%、H26:82.8%）であった。

- **3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価については、「信頼できる先生であった」が最も多く、8割を超えた。**

3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価については、「信頼できる先生であった」が**84.3%**（H27:84.8%、H26:84.3%）、「生徒の指導に熱心だった」が**84.0%**（H27:85.9%、H26:84.4%）、「生徒をよく理解してくれた」が**80.1%**（H27:80.3%、H26:80.6%）であった。

- **大阪府の授業料無償化制度の対象であった者のうち、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答した割合は8割を超えた。**

無償化制度の対象者のうち、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答した割合は、**85.6%**（H27:83.7%、H26:86.4%）であった。

世帯の年収で区分して見ると年収590万円未満世帯では**90.5%**（H27:89.9%、H26:91.4%）、年収800万円未満世帯では**87.1%**（H27:88.2%、H26:88.9%）が、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答している。

### 【満足度調査の対象及び実施方法について】

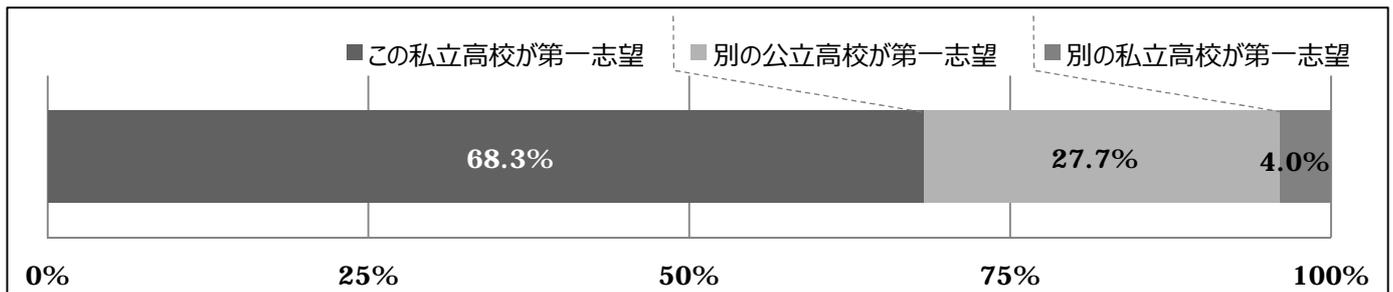
#### 1 対象

入試選抜を経た上で府内の全日制私立高校（91校）に入学した平成28年度の高校3年生のうち、各校が選定したクラスに属する生徒の保護者 **8,958人**（H27:9,011人、H26:9,226人）

#### 2 実施方法

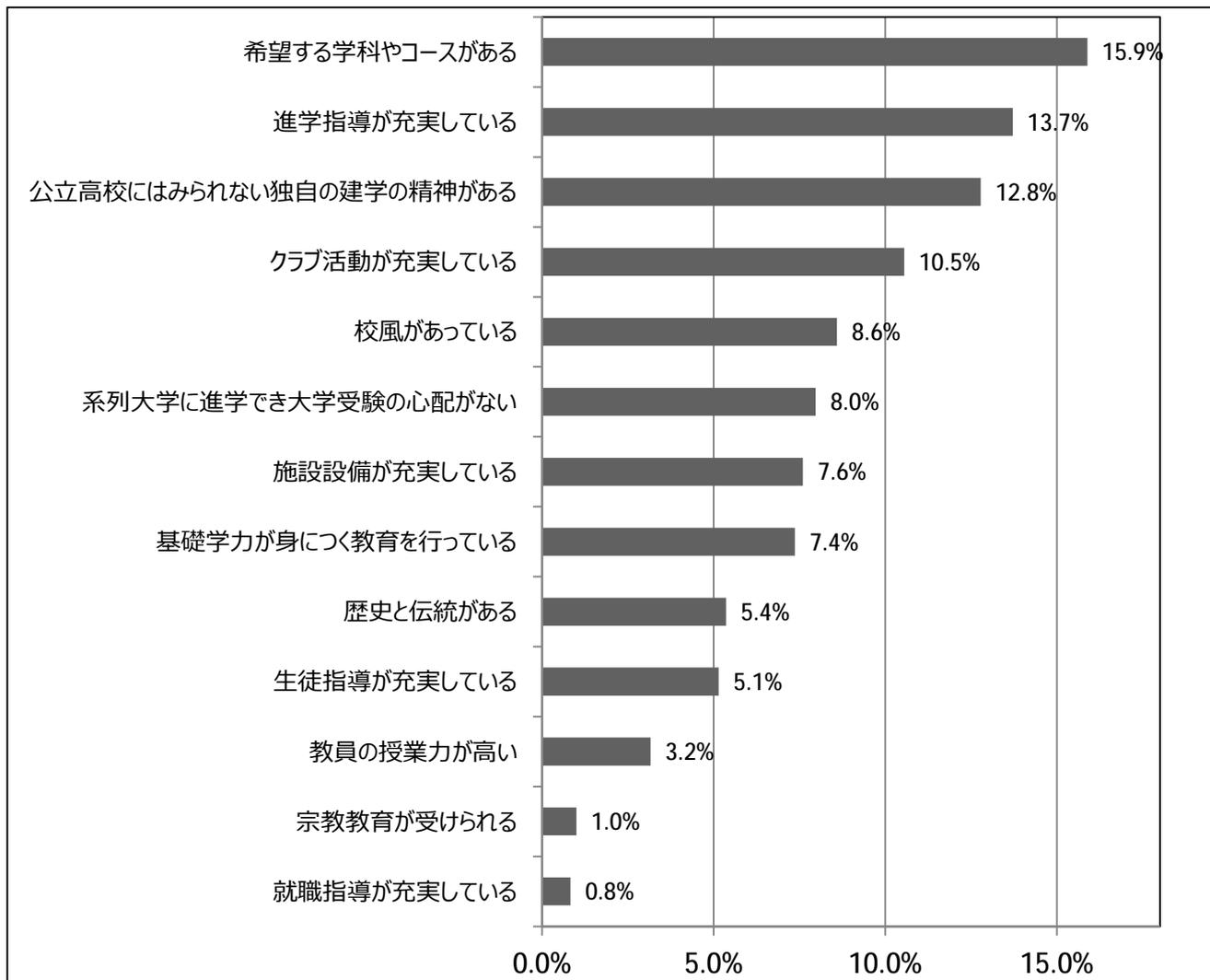
平成29年1月に府内の私立高校へ調査用紙を配布し、各学校において調査対象クラスを選定の上、対象生徒を通じて保護者に調査用紙を配布。3月末までに**6,806人**（H27:2,550人、H26:2,740人）の保護者から回答を得た。

**問1 在籍されている私立高校は第一志望であったかどうか、お尋ねします。**



- 在籍する私立高校が第一志望であったかどうかを聞いたところ、第一志望であったとする割合が**68.3%**（H27:70.3%、H26:72.5%）となっている。

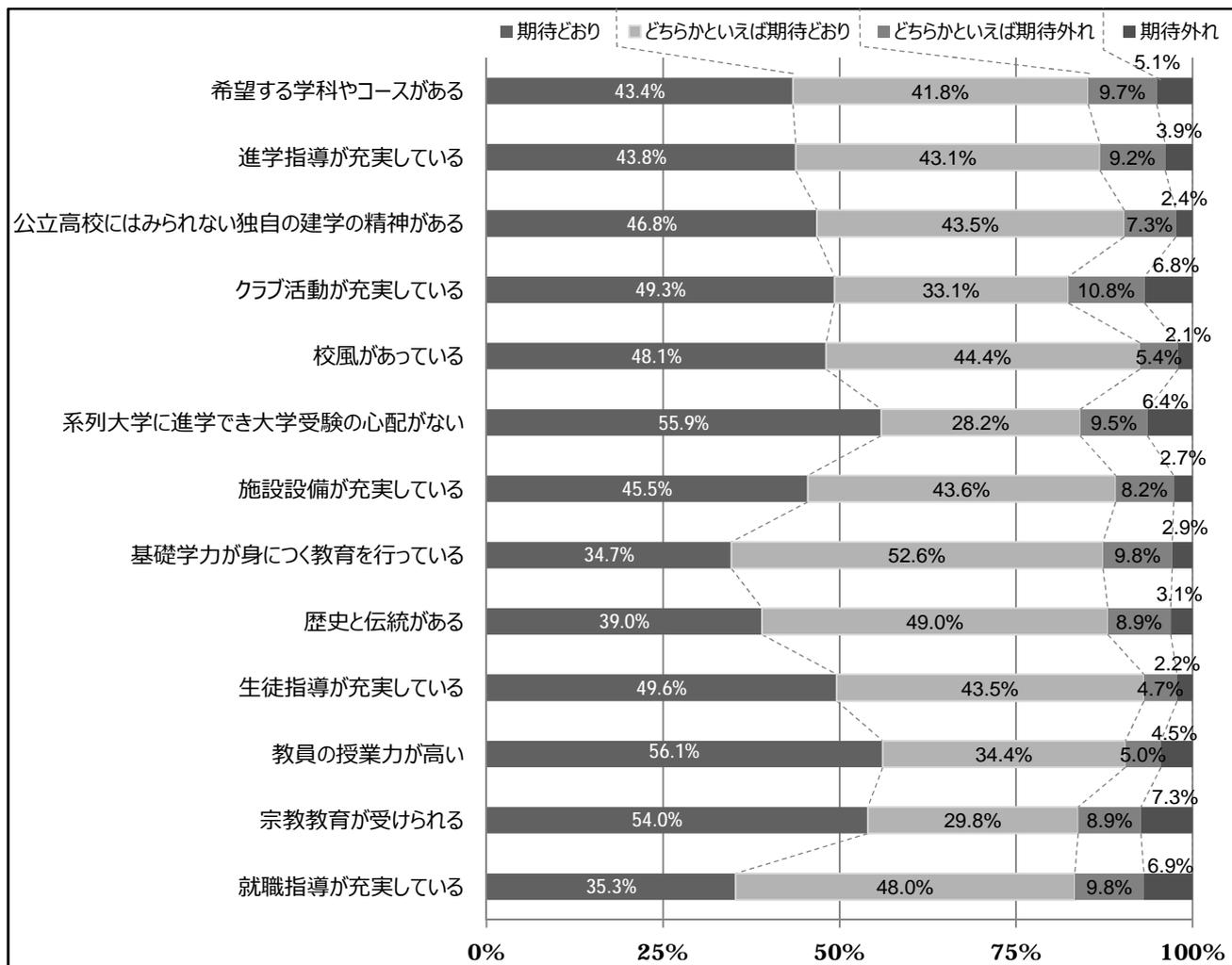
**問2 在学されている私立高校を選択されたときの決め手となったものを、次の中から2つ選んでください。**



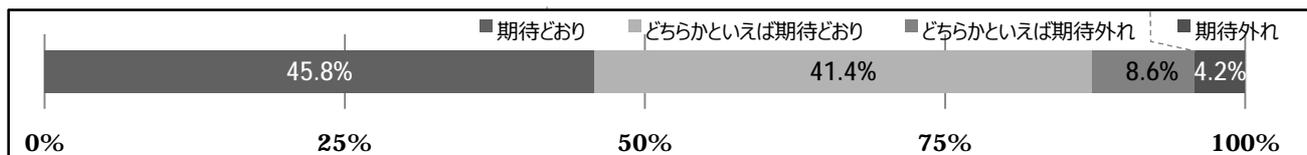
- 私立高校を選択したときの決め手となったものについては、「希望する学科やコースがある」（15.9%）が最も高く、第二位は「進学指導が充実している」（13.7%）となっている。

- ・ 在学する私立高校を選択したときの決め手となったものについては、「希望する学科やコースがある（15.9%）」（H27:12.7%、H26:11.6%）が最も多く、次いで、「進学指導が充実している（13.7%）」（H27:14.6%、H26:14.5%）、「公立高校には見られない独自の建学の精神がある（12.8%）」（H27:14.7%、H26:15.1%）となっている。
- ・ 反対に、「就職指導が充実している（0.8%）」（H27:0.7%、H26:0.9%）、「宗教教育が受けられる（1.0%）」（H27:1.2%、H26:1.1%）については、私立高校を選択したときの決め手となったものとしては、低い数値となっている。

**問3 3年間の高校生活を通じて、問2でお答えいただいた決め手となった項目は、期待どおりでしたか。**  
**(問2で決め手となったものとして多くあげられた項目順)**

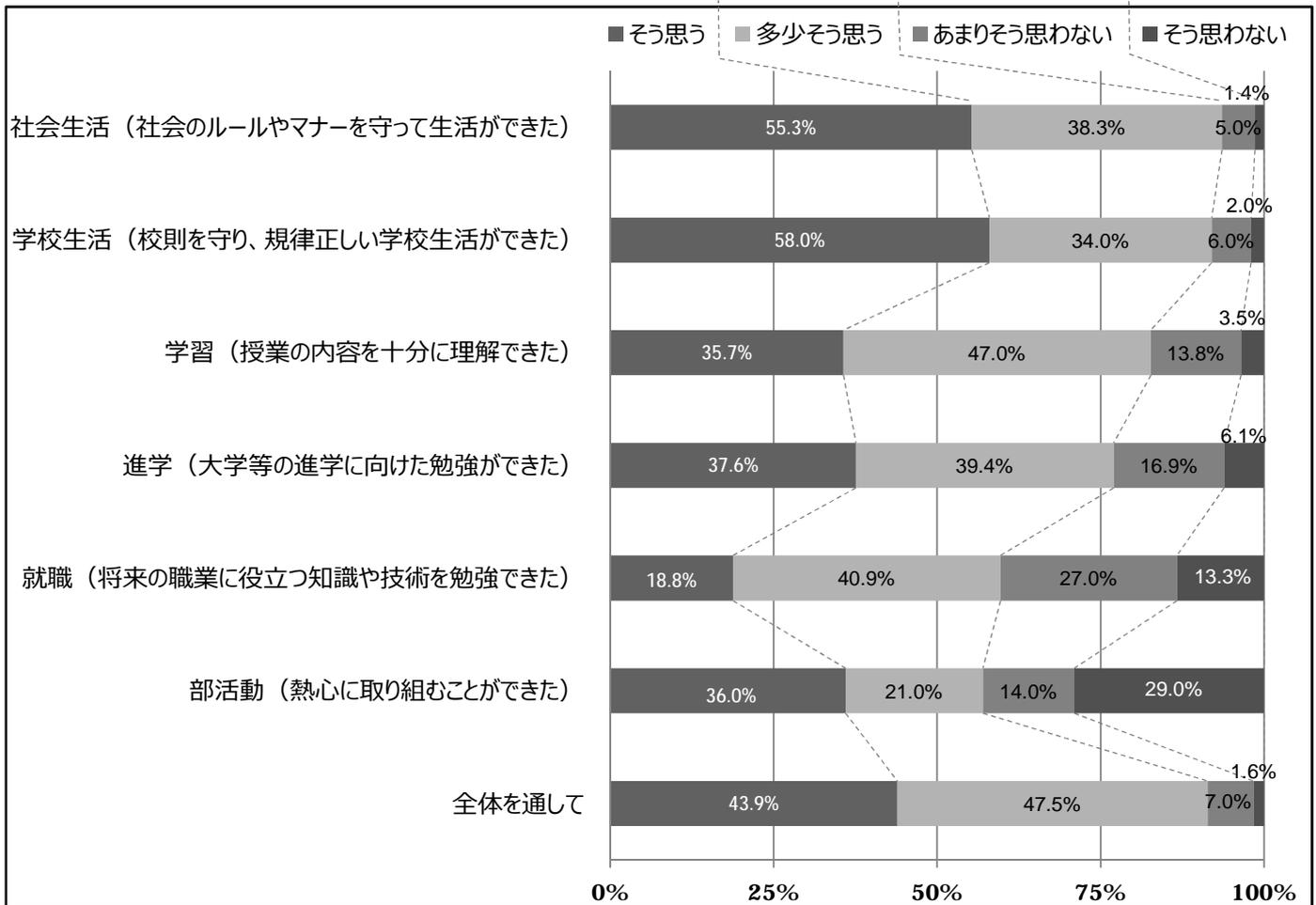


**3年間の高校生活を通じて、問2でお答えいただいた決め手となった項目は、期待どおりでしたか。(全体)**



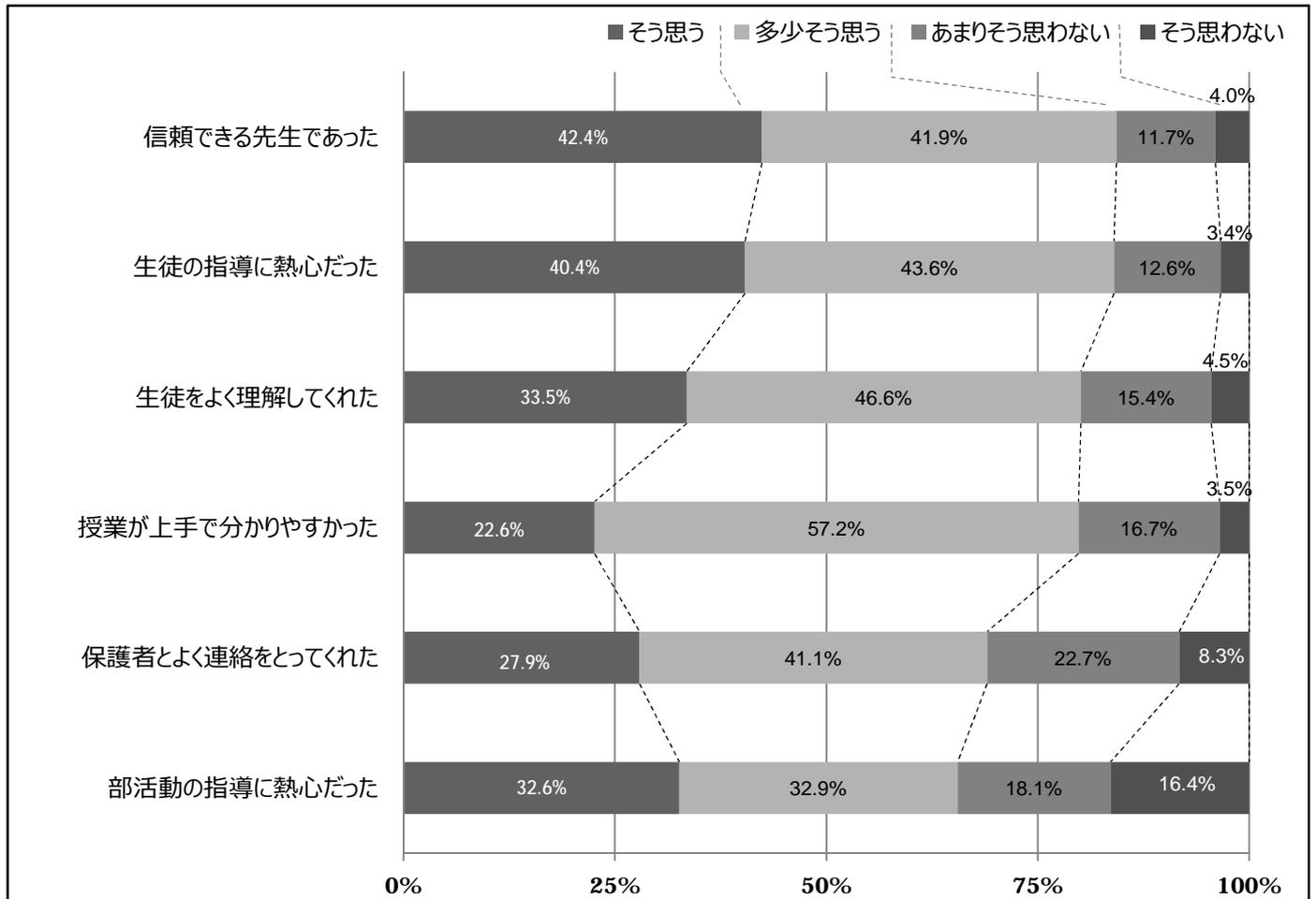
- **私立高校を選択したときの決め手となった項目が3年間の高校生活で期待どおりであったとしたのは、「希望する学科やコースがある」については85.2%、「進学指導が充実している」については86.9%であった。**
- ・ 私立高校を選択したときの決め手となったそれぞれの項目が、3年間の高校生活で期待どおりであったのかを聞いたところ、「期待どおり」と「どちらかといえば期待どおり」を合わせた肯定的な意見は、決め手として多くあげられた「希望する学科やコースがある」については**85.2%**（H27:87.2%、H26:85.3%）、「進学指導が充実している」については**86.9%**（H27:86.9%、H26:86.8%）と、**8割を超えている。**
- ・ また、決め手としては低い数値ではあるものの、「宗教教育が受けられる」については**83.8%**（H27:89.5%、H26:90.9%）、「就職指導が充実している」については**83.3%**（H27:82.3%、H26:79.2%）が、期待どおりであったとしている。
- ・ なお、期待どおりであったとする肯定的な意見が一番多かった項目は、「生徒指導が充実している（93.1%）」（H27:91.5%、H26:94.2%）、「校風があっている（92.5%）」（H27:91.8%、H26:92.4%）、次いで「教員の授業力が高い（90.5%）」（H27:88.7%、H26:88.3%）となっている。
- ・ 決め手としてあげられた項目の全体で見れば、期待どおりであったとする肯定的な意見は、**87.2%**（H27:87.1%、H26:87.2%）となっている。
- ・ また、「どちらかといえば期待外れ」と「期待外れ」を合わせた否定的な意見が多かった項目は、「クラブ活動が充実している（17.6%）」（H27:18.3%、H26:19.6%）、次いで「就職指導が充実している（16.7%）」（H27:17.7%、H26:20.8%）、「宗教教育が受けられる（16.2%）」（H27:10.5%、H26:9.1%）となっている。

問4 3年間の高校生活を通じて、お子様が成長・向上したと感じておられますか。



- **子どもが成長・向上したと感じている項目については、「社会生活（社会のルールやマナーを守って生活ができた）」が93.6%と最も多い**  
 ※27年度調査：「社会生活（社会のルールやマナーを守って生活ができた）（94.0%）」が最も多い
- ・ 3年間の高校生活を通じて、子どもが成長・向上したと感じている項目について聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見として、「社会生活（社会のルールやマナーを守って生活ができた（93.6%）」（H27:94.0%、H26:93.8%）が最も多く、次いで、「学校生活（校則を守り、規律正しい学校生活ができた（92.0%）」（H27:93.5%、H26:92.8%）、「全体を通して（91.4%）」（H27:91.9%、H26:91.5%）となり、9割を超えている。
- ・ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見が多いのは、「部活動（熱心に取り組むことができた）（43.0%）」（H27:40.2%、H26:41.9%）であり、次いで「就職（将来の職業に役立つ知識や技術を勉強できた）（40.3%）」（H27:40.4%、H26:41.2%）、「進学（大学等の進学に向けた勉強ができた）（23.0%）」（H27:20.5%、H26:22.9%）となっている。

問5 3年間の高校生活を通じて、学校の先生についてどのように感じておられますか。

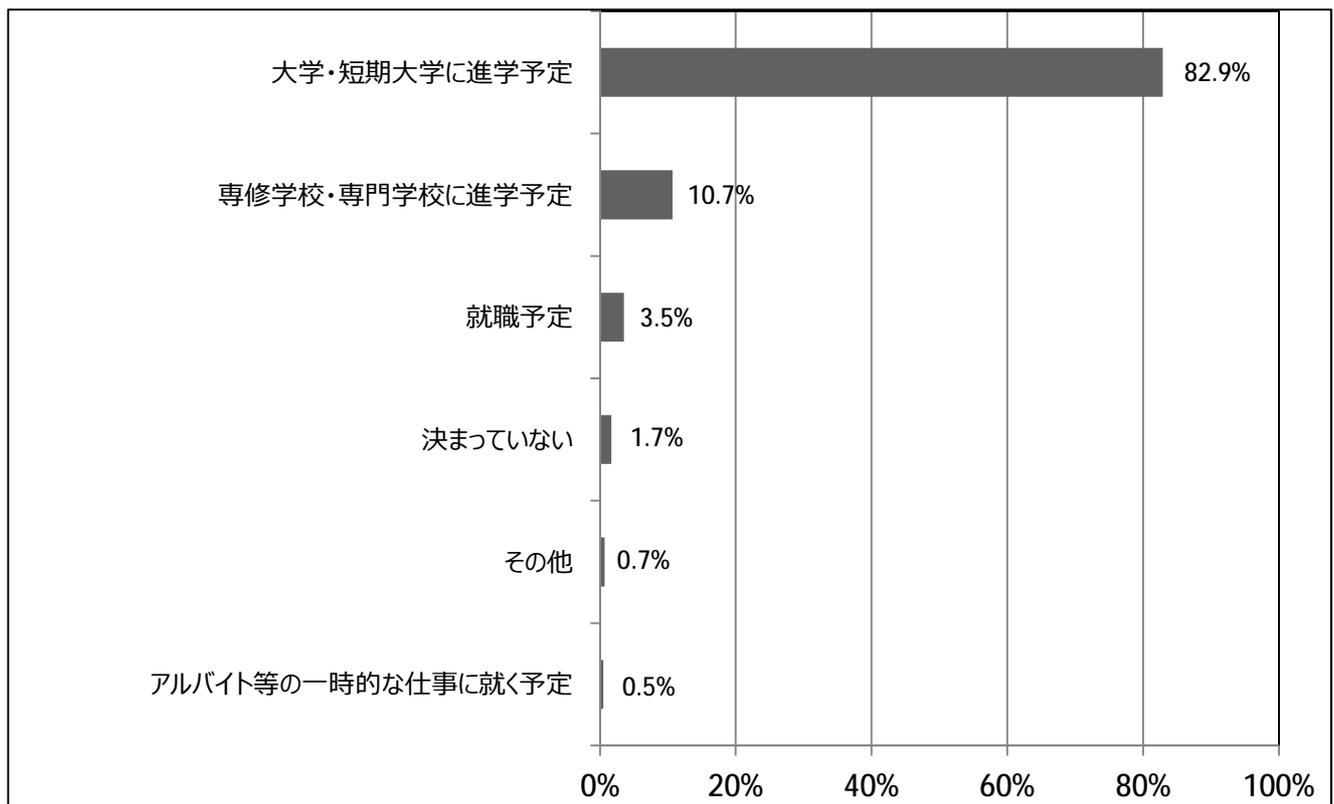


○ 学校の先生に対する評価については、「信頼できる先生であった」が84.3%と最も多い

※27年度調査：「生徒の指導に熱心だった（85.9%）」が最も多い

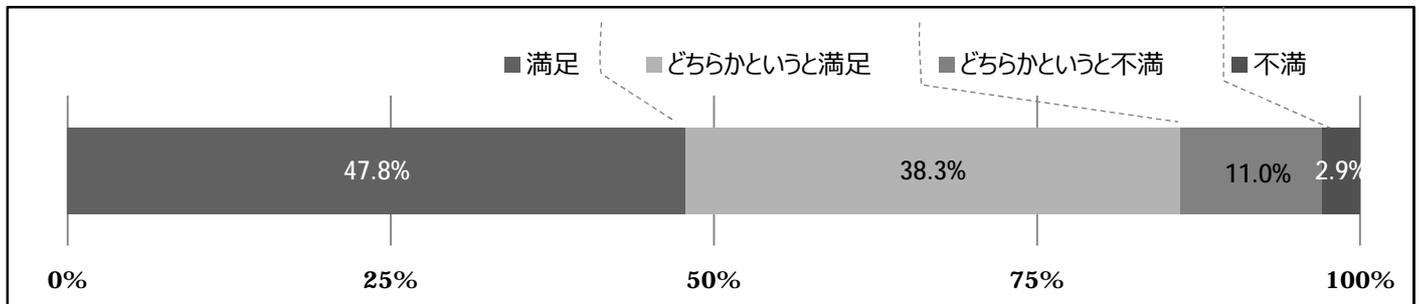
- 3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価を聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見として、「信頼できる先生であった（84.3%）」（H27:84.8%、H26:84.3%）と最も多く、次いで、「生徒の指導に熱心だった」が84.0%（H27:85.9%、H26:84.4%）、「生徒をよく理解してくれた（80.1%）」（H27:80.3%、H26:80.6%）、「授業が上手で分かりやすかった（79.8%）」（H27:80.8%、H26:78.4%）となり、約8割以上となっている。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見としては、「部活動の指導に熱心だった（34.5%）」（H27:32.2%、H26:35.3%）が最も多く、次いで「保護者とよく連絡をとってくれた（31.0%）」（H27:29.1%、H26:31.4%）となっている。

問6 高校卒業後のお子様の進路についてお聞きします。



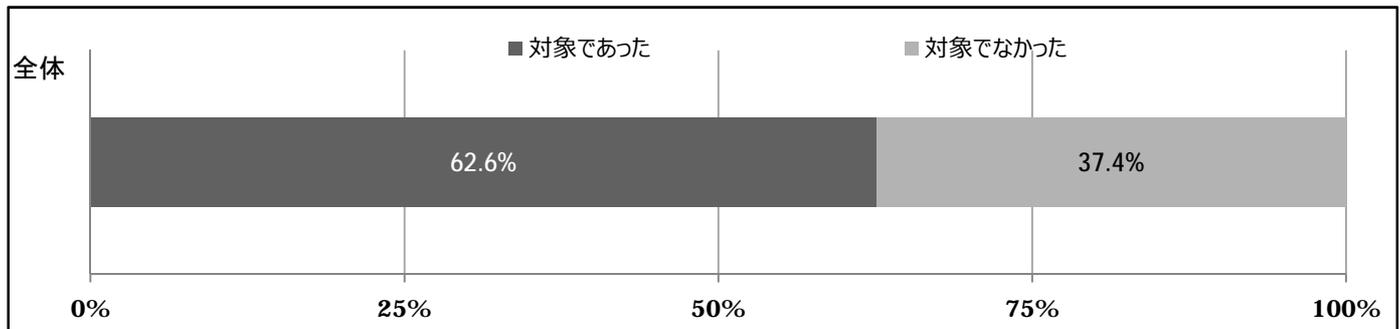
- 高校卒業後の進路について聞いたところ、82.9%の生徒が、大学・短期大学に進学予定となっている。  
※27年度調査：大学・短期大学に進学予定（85.7%）

問7 問6でお答えいただいた進路について、学校の進路指導等に満足していますか。



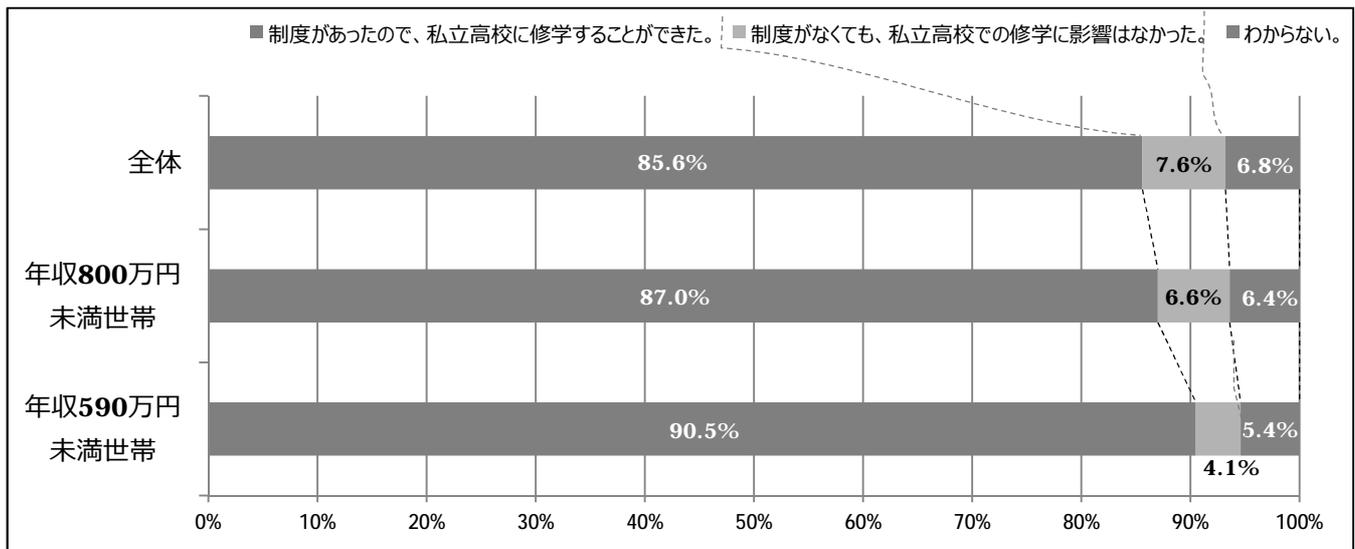
- 学校の進路指導の満足度について聞いたところ、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせた肯定的な意見は、86.1%（H27:85.6%、H26:83.1%）と8割を超えている。

問8 あなたは授業料無償化制度（授業料支援補助金制度）の対象でしたか。

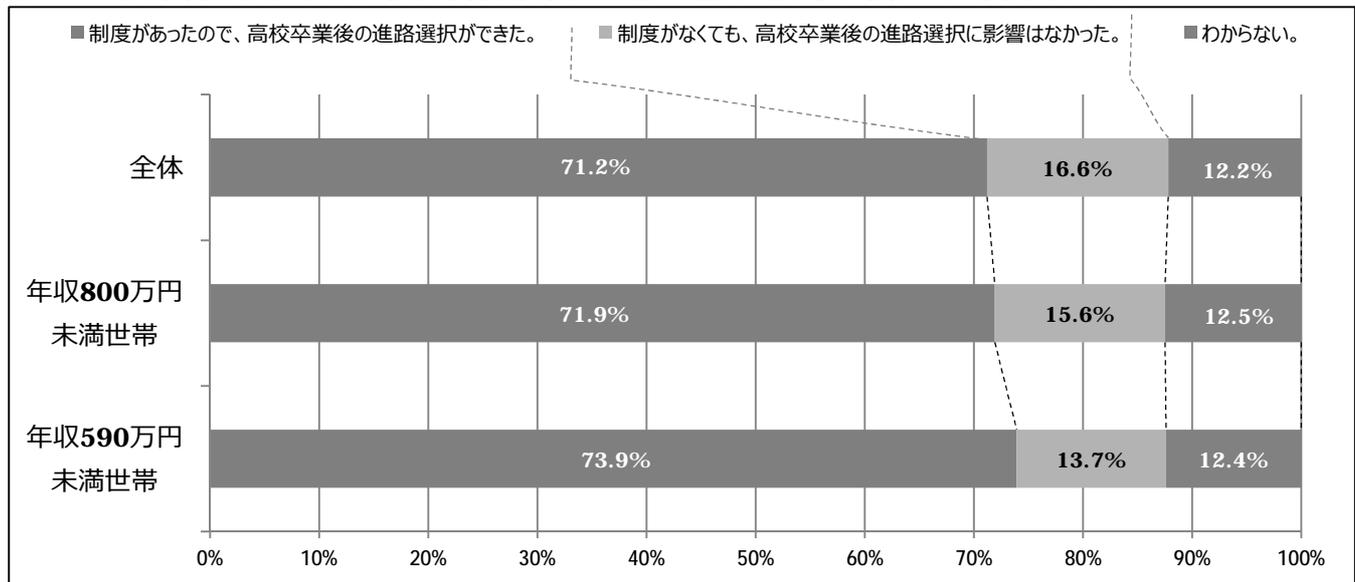


- 今回、回答のあった保護者のうち、生徒が大阪府の「授業無償化制度」の対象であった割合は、62.6%（H27:59.2%、H26:63.2%）、対象でなかった割合は、37.4%（H27:40.8%、H26:36.8%）となっている。

問9-1 授業料無償化制度により、私立高校の修学にどのような影響がありましたか。



問9-2 授業料無償化制度により、高校卒業後の進路選択にどのような影響がありましたか。



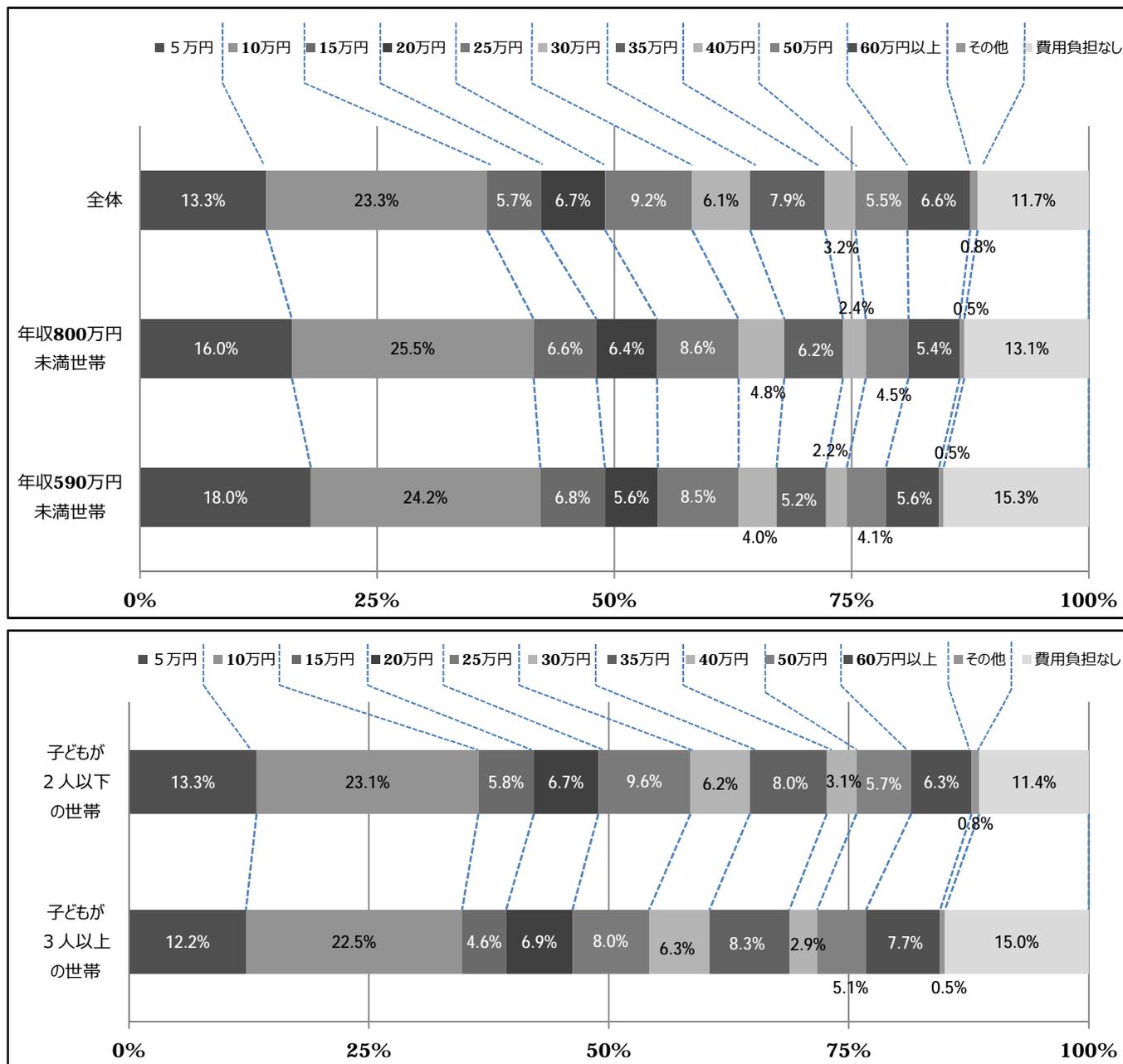
○ 今回、授業料無償化制度の対象であった者のうち、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答した割合は、85.6%となっている。また、授業料無償化制度の対象であった者のうち、「無償化制度があったので、高校卒業後において希望する進路が選択できる」と回答した割合は、71.2%となっている。

- ・授業料無償化制度の私立高校の進学への影響について聞いたところ、「制度があったので、私立高校に修学することができた」が85.6%（H27:83.7%、H26:86.4%）と8割を超え、「制度がなくても、私立高校での修学に影響はなかった」は7.6%（H27:7.9%、H26:8.4%）、「わからない」は6.8%（H27:8.4%、H26:5.2%）となっている。
- ・これを世帯の年収で区分して見ると、「制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答した割合は、年収800万円未満世帯では87.1%（H27:88.2%、H26:88.9%）、590万円未満世帯では90.5%（H27:89.9%、H26:91.4% ※）となっており、世帯年収が低くなるほど、割合は高くなっている。
- ・授業料無償化制度の私立高校卒業後の進路への影響について聞いたところ、「制度があったので、高校卒業後において希望する進路が選択できる」が71.2%と7割を超え、「制度がなくても、高校卒業後の進路選択に影響はなかった」は16.6%、「わからない」は12.2%となっている。
- ・これを世帯の年収で区分して見ると、「高校卒業後において希望する進路が選択できる」と回答した割合は、年収800万円未満世帯では71.9%、590万円未満世帯では73.9%となっており、世帯年収が低くなるほど、割合は高くなっている。

※H27・26の割合は600万円未満世帯の回答

## 問10 私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、どの程度が妥当とお考えですか。

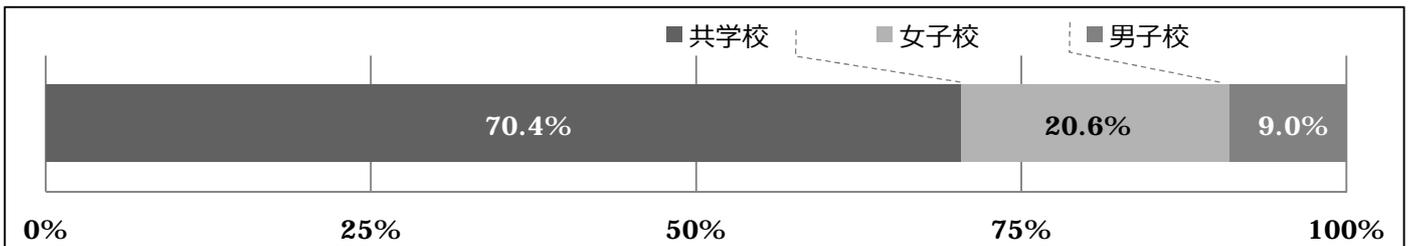
(注)「私立高校ならではの教育」とは、英語力・学力向上のための特色ある取組み、ICT環境・人工芝などの充実した施設等をいいます。



○ 私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、10万円（月1万円程度）が妥当と考える割合が最も多く、全体の23.3%となっている。

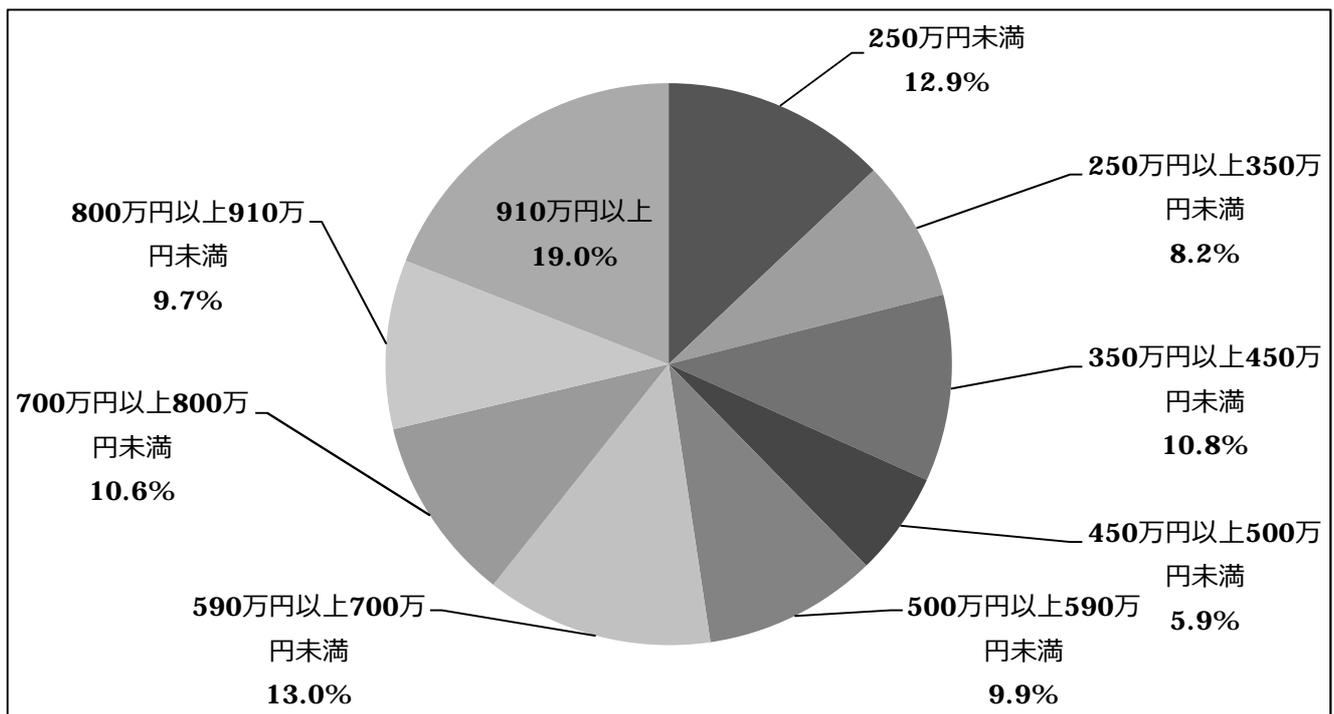
- ・ 私立高校ならではの教育を受けるための一定の費用負担額（年額）としては、どの程度が妥当か聞いたところ、「10万円（月1万円程度）」が妥当と考える割合は、全体では**23.3%**、年収800万円未満世帯では**25.5%**、年収590万円未満世帯では**24.2%**となっており、いずれの所得区分で見ても、最も多くなっている。また、世帯における子どもの数が2人以下の世帯では**23.1%**、3人以上の世帯では**22.5%**となっている。
- ・ 「費用負担なし」とする割合は、全体では**11.7%**、年収800万円未満世帯で**13.1%**、年収590万円未満世帯では**15.3%**となっている。世帯の年収が低くなるほど割合は高くなっている。また、世帯における子どもの数が2人以下の世帯では**11.4%**、3人以上の世帯では**15.0%**となっている。

問11 お子様が在学されている私立高校についてお尋ねします。



- 生徒の在学する学校の別を聞いたところ、共学校が70.4%（H27:69.8%、H26:71.3%）、女子校が20.6%（H27:21.8%、H26:21.4%）、男子校が9.0%（H27:8.4%、H26:7.3%）となっている。

問12 あなたの世帯のおおよその年収をお尋ねします。



- 世帯年収について聞いたところ、累積では年収590万円未満世帯が47.7%（参考 年収600万円未満世帯 H27:47.4%、H26:46.9%）、年収800万円未満世帯が71.3%（H27:68.9%、H26:69.9%）となっている。

## 平成27年度私立高校3年生の保護者を対象とした 高校生活満足度調査の結果について

平成28年6月  
大阪府教育庁私学課

大阪府では、子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障することを目的に、平成23年度の新1年生から、私立高校の授業料無償化制度（私立高等学校等授業料支援補助金）を実施しています。

この無償化制度の効果検証の一環として、平成27年度の私立高校3年生の保護者を対象として、高校生活に関する満足度調査を平成28年2月から3月に実施しました。

本調査は、平成27年度の高校3年生に対し実施しており、今年度で3回目の実施となります。

### 【調査結果の概要】

- **私立高校を選択したときの決め手としてあげられた項目が、3年間の高校生活において期待どおりであったとする肯定的な意見は約9割であった。**

私立高校を選択したときの決め手となった項目について、上位二つを選択してもらったところ、「公立高校にはみられない独自の建学の精神がある」を選択したものが14.7%（H26:15.1%、H25:15.4%）と最も高く、第二位は、「進学指導が充実している」が14.6%（H26:14.5%、H25:13.6%）であった。また、これらの項目について、3年間の高校生活において期待どおりであったとする肯定的な意見は、それぞれ89.0%（H26:91.6%、H25:89.8%）、86.9%（H26:86.8%、H25:85.6%）であった。

決め手としてあげられた項目の全体でみれば、期待どおりであったとする肯定的な意見は87.1%（H26:87.2%、H25:88.1%）であった。

- **子どもが3年間の高校生活の「全体を通して成長・向上した」という肯定的な意見は9割を超えた。**

3年間の高校生活を通じて、子どもが「社会のルールやマナーを守って生活ができた」、「校則を守り、規律正しい学校生活ができた」という肯定的な意見は、それぞれ94.0%（H26:93.8%、H25:93.7%）、93.5%（H26:92.8%、H25:92.6%）となったほか、「授業の内容を十分に理解できた」という肯定的な意見は83.9%（H26:82.8%、H25:83.1%）であった。

- **3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価については、「生徒の指導に熱心だった」が最も多く、8割を超えた。**

3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価については、「生徒の指導に熱心だった」が85.9%（H26:84.4%、H25:84.8%）、「信頼できる先生であった」が84.8%（H26:84.3%、H25:84.4%）、「授業が上手で分かりやすかった」が80.8%（H26:78.4%、H25:78.6%）であった。

- **大阪府の授業料無償化制度の対象であった者のうち、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答した割合は8割を超えた。**

無償化制度の対象者のうち、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答した割合は、83.7%（H26:86.4%、H25:86.1%）であった。

世帯の年収で区分して見ると、年収250万円未満世帯では89.7%（H26:94.1%、H25:93.8%）、350万円未満世帯では93.7%（H26:94.3%、H25:92.7%）、500万円未満世帯では90.3%（H26:91.4%、H25:91.3%）、600万円未満世帯では87.1%（H26:85.8%、H25:90.5%）、800万円未満世帯では83.6%（H26:83.5%、H25:87.9%）が、「無償化制度があったので、私立高校に修学することができた」と回答している。

### 【満足度調査の対象及び実施方法について】

#### 1 対象

入試選抜を経た上で府内の全日制私立高校（90校）に入学した平成27年度の高校3年生のうち、各校が選定したクラスに属する生徒の保護者 9,011人（H26:9,226人、H25:10,537人）

#### 2 実施方法

平成28年1月に府内の私立高校へ調査用紙を配布し、各学校において調査対象クラスを選定の上、対象生徒を通じて保護者に調査用紙を配布。3月末までに2,550人（H26:2,740人、H25:2,517人）の保護者から回答を得た。